

平成 29 年度
学校だより



ふやくの風

鹿児島大学教育学部
附属小学校
第7号
平成 29 年 11 月 29 日 発行

ピンチを変容のチャンスととらえる

副校長 益山 富誉

6年生の修学旅行に同行しました。あるエピソードを紹介します。

1日目の夕食会場です。美味しい料理をお腹いっぱい食べて、ほっとしたのでしょうか。後片付けからの時間が遅れ、学年レクが始まる時間を大分過ぎてしまいました。待ちきれずに、担当の先生の指導が入りました。注意の後に、このようなことが起こらないようにするために、周りの人と話合いをさせ、共通理解を図り、自ら自分たちの行動を改めさせたのです。残りの2日間は、規律正しい附属小の子どもの姿が見られました。「さすが、附属小の6年生。今年は特に違う。」という言葉を、添乗員やバスガイドの方から幾度となく聞くことができました。その姿は、1か月過ぎた今でも続いている。

機会を逃すことなく即対応し、一方通行の指導ではなく、子ども一人一人が考え、自分の言動に責任をもたすことで、子どもは大きく変容することを学んだ修学旅行でした。



【たくさんの友達の考え方を聞き多様な意見に触れている様子】

共にみがき高め合う ~単式・複式交流~

11月7日(火)～10日(金)に単式・複式交流学習を行いました。これは、毎年この時期に複式学級の子どもたちが、同じ学年の学級に数名ずつ入り、一日のほとんどの時間を過ごす取組です。この交流活動によって、単式学級の子どもたちにとっては、複式学級の自分たちの考えを出し合い、共通点や差違点を見つけていく中で、課題を解決していく学習経験ができるよい機会。複式学級の子どもたちにとっては、30人を超える友達と一緒に学ぶ経験となりました。

この単式・複式交流は、学習内容の理解を深めるために、体育科学習で部分的ではありますが、普段から取り入れられ、特定の学級と合同で学習を進めています。

単式・複式互いの学びのよさを生かし、共にみがき高め合うことは、附属小にしかできない取組であると考えます。



【たくさんの友達の考え方を聞き多様な意見に触れている様子】

【創立 140 周年記念に関する取組】

● 附属探検隊 出発！～2年生活科「鴨池一丁目探検」～

第2学年の『生活科』では、学校周辺のお気に入りの場所を見つけ、それを友達に紹介する活動を行っております。鴨池一丁目を探検し、詳しく知りたくなつたことについて、お店の方にインタビューをすることで、自分の住んでいる地域と比べ、それぞれのよさを見つかり、愛着を深めたりしていきます。

自分たちが知りたいことやってみたいことを追究していく附属探検隊は、第3号(6月発行)でお伝えした3年生の里山体験につながり、活動の場を広げていくことになります。



【一回目の探検に張り切る子どもたち】



【地図にどんな建物があるか書き込んでいる様子】

子どもの日記から

鴨池一丁目には、大きな建物がたくさんありました。大きな通りにお店や会社があり、お家もたくさんあつたりしました。もっとたくさん鴨池一丁目のことを探検名人になりたいです。〔2年 女児〕

つばさおおしく 未来へはばたけ！～多目的テラス愛称決定～

夏休み明けに完成していたテラスの愛称が「つばさ」に決定しました。この名前は子どもたちからの応募の中から決定されました。由来は、本校の校歌の3番にある「つばさおおしく はばたいて かけるこの夢 この命」という歌詞からです。この学び舎から自分の夢や目標に向かって未来へ大きく羽ばたいていきたいという子どもたちの願いが込めています。

参観ありがとうございました。～祖父母参観～

3日(金)に行いました祖父母参観への参加ありがとうございました。当日は、2,000人程の参観者で、子どもたちの学習の様子の参観や学校の取組について紹介させていただきました。今後も鹿児島県の教育を先導する取組に御理解と御協力をお願いします。



【ふれあい活動で紙相撲を楽しむ様子】



【ふれあい活動で手形をとる様子】



【授業を微笑ましく参観される様子】

【12月の主な行事】

- 1日(金) 学校保健委員会
4日(月) 校内人権週間(～8日)
9日(土) ちからいの会門松づくり
12日(火) 集団下校(地震・噴火)

- 15日(金) 教育相談(～21日)
22日(金) 後期前半終了(5時間授業)
23日(土) 冬季休業(～1月8日)

※個人情報保護のため、写真の画像を編集しています。